

3. 人権に関する意識

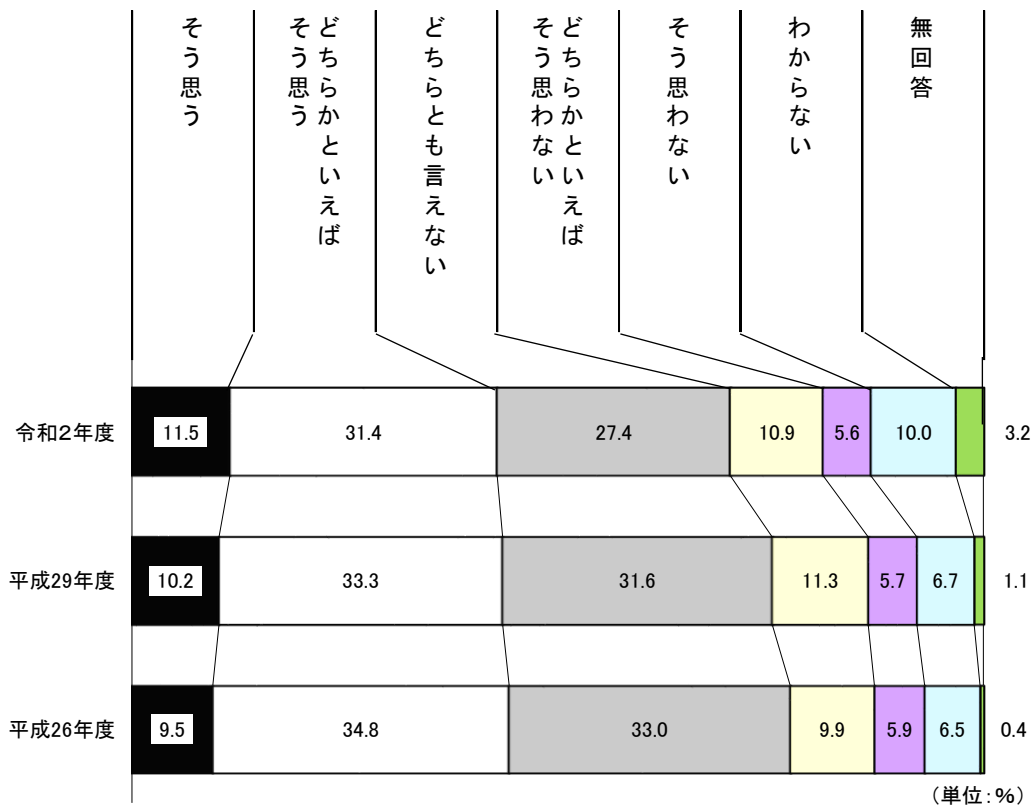
(1) 人権の尊重

問8 あなたは日常生活の中で、人権が尊重されていると感じていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

人権の尊重について、肯定層、否定層ともに横ばい

人権の尊重について、「肯定層」(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)の割合は 42.9%で、「否定層」(「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」)の割合は 16.5%となっている。

前回調査と比較すると、「肯定層」の割合は 0.6 ポイント減少、「否定層」は 0.5 ポイント減少とほぼ横ばいである。



<属性による比較>

【生活圏別】

「肯定層」は、広島地方生活圏が43.2%、備後地方生活圏が42.2%、備北地方生活圏が41.9%とほぼ均衡である。

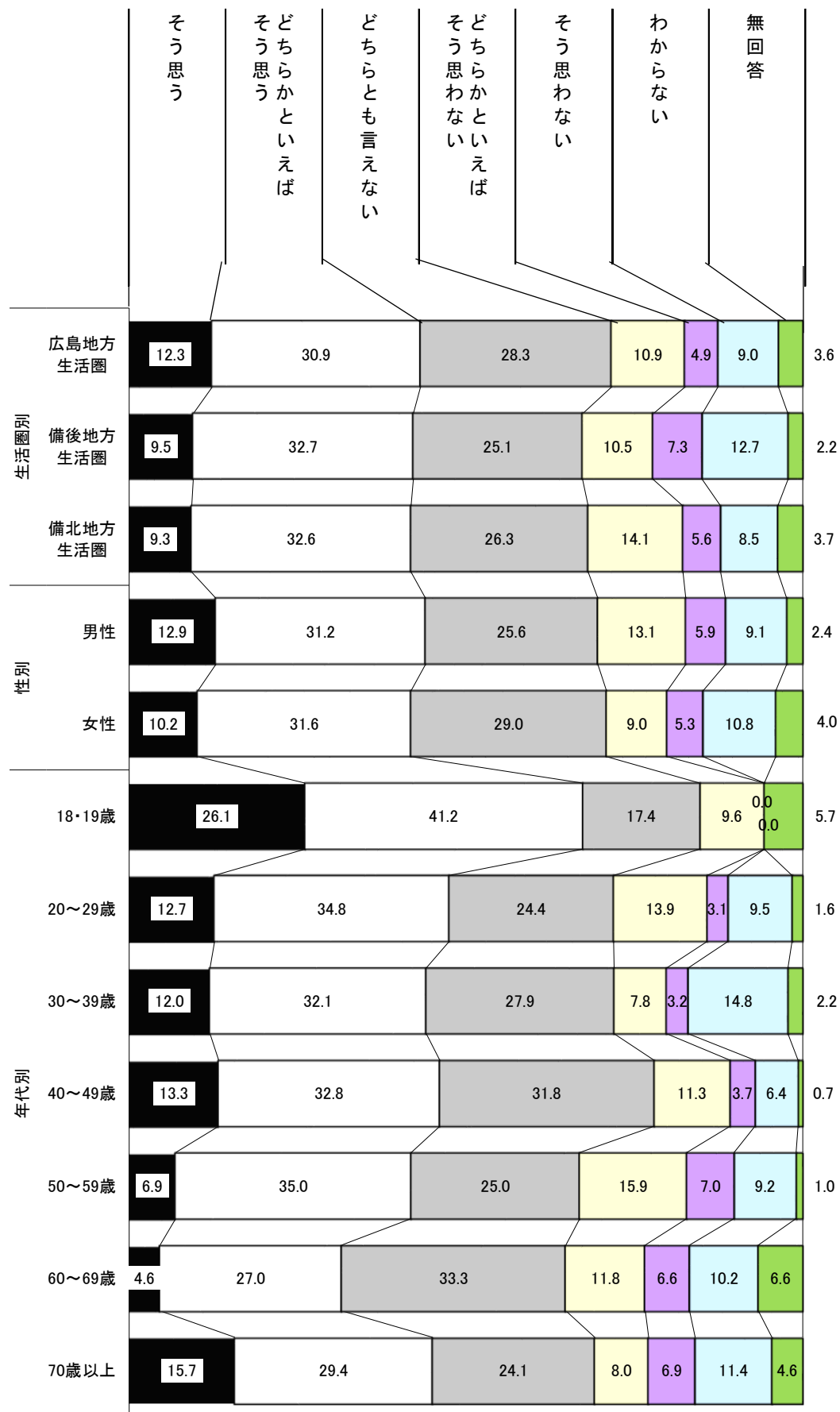
【性別】

男性の「肯定層」(44.1%)は女性と比べて 2.3 ポイント高い。

【年代別】

「肯定層」は 18・19 歳(67.3%)で高く、「否定層」の割合は 50 歳代(22.9%)で高くなっている。

人権の尊重(生活圏, 性, 年代別)



(単位: %)

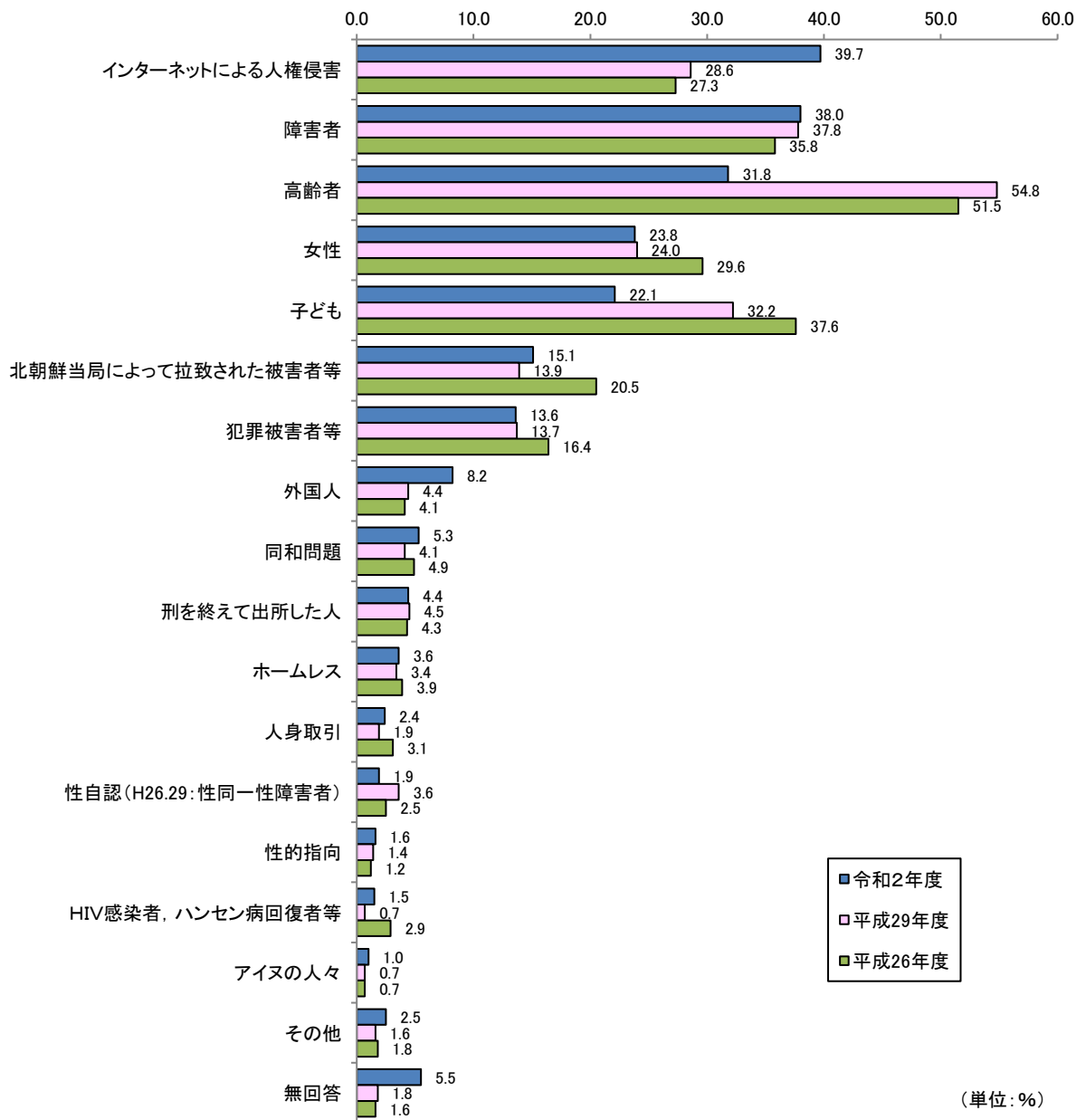
(2) 人権課題への関心

問9 あなたはどのような人権課題に関心がありますか。あてはまるものを3つ以内で選んでください。
(M. A.)

**人権課題の関心が高いのは、
「インターネットによる人権侵害」「障害者」「高齢者」**

人権課題で関心のある項目として、「インターネットによる人権侵害」と回答した割合が39.7%と高く、次いで、「障害者」が38.0%、「高齢者」が31.8%となっている。

前回調査と比較すると、「インターネットによる人権侵害」が11.1ポイント増加している。一方で、「高齢者」は23.0ポイント減少している。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

「インターネットによる人権侵害」に対する関心は広島地方生活圏(41.5%)が4割を超えて高く、「障害者」に対する関心は備北地方生活圏(50.4%)が5割を超えて高くなっている。また、「高齢者」に対する関心は備後地方生活圏(36.2%)が他の生活圏と比べて最も高い。

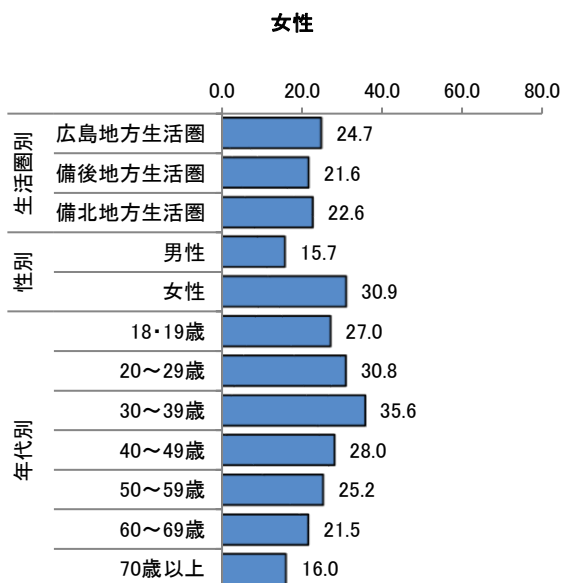
【性別】

女性は「女性」(30.9%)、「子ども」(25.6%)に対する関心が男性と比べて高く、男性は「インターネットによる人権侵害」(43.1%)に対する関心が女性と比べて高い。

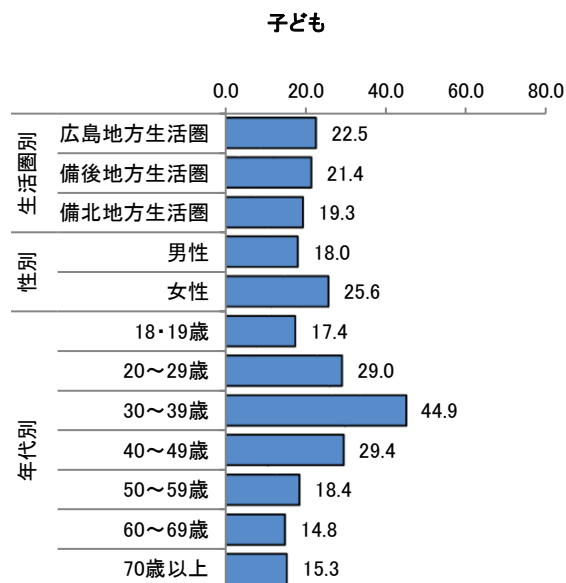
【年代別】

「女性」「子ども」に対する関心は30歳代が他の年代と比べて高い。「障害者」「高齢者」に対する関心は70歳以上で高い。「インターネットによる人権侵害」に対する関心は40歳代で50.6%と5割を超えて高い。「外国人」、「HIV感染者、ハンセン病回復者等」、「刑を終えて出所した人」に対する関心は18・19歳が他の年代と比べて高くなっている。

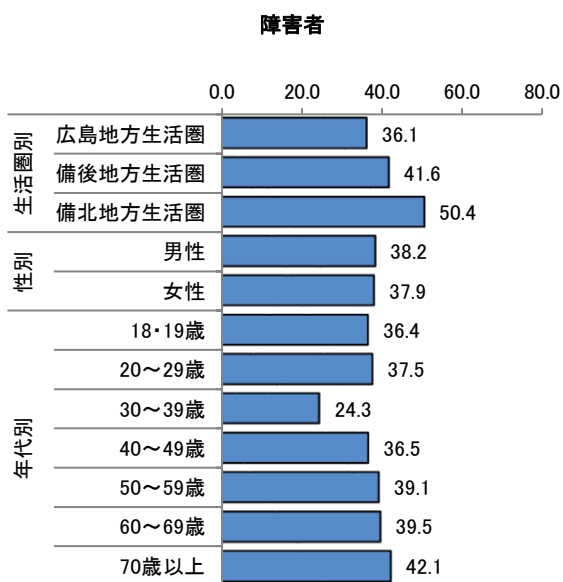
人権課題への関心(生活圏, 性, 年代別)



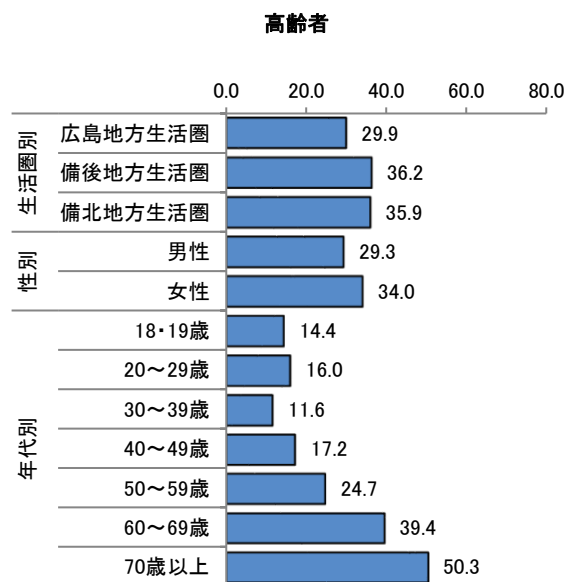
(単位: %)



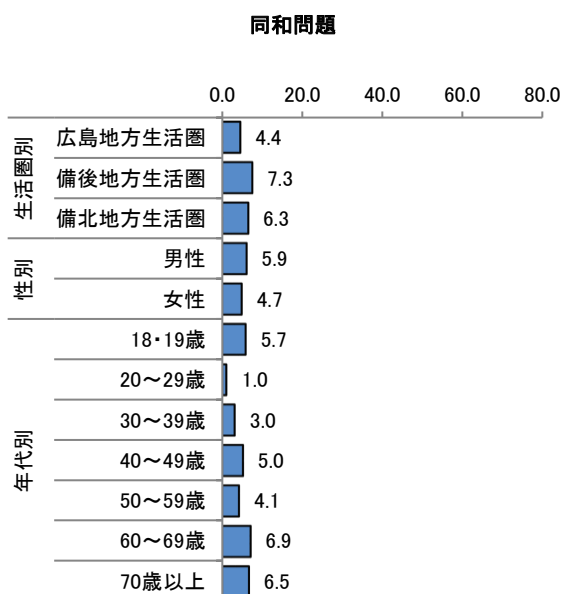
(単位: %)



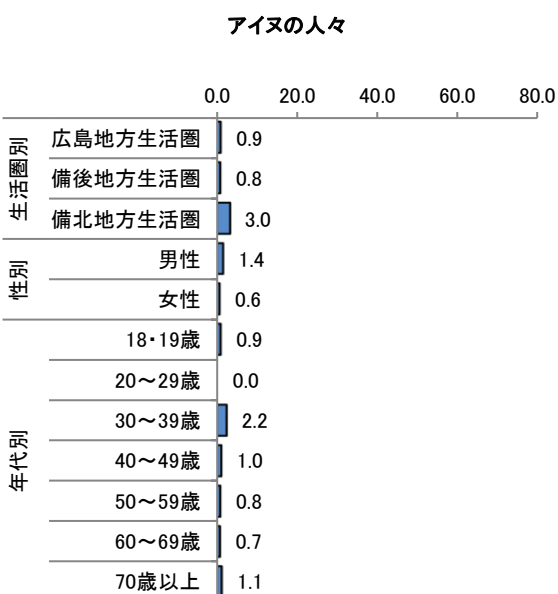
(単位: %)



(単位: %)

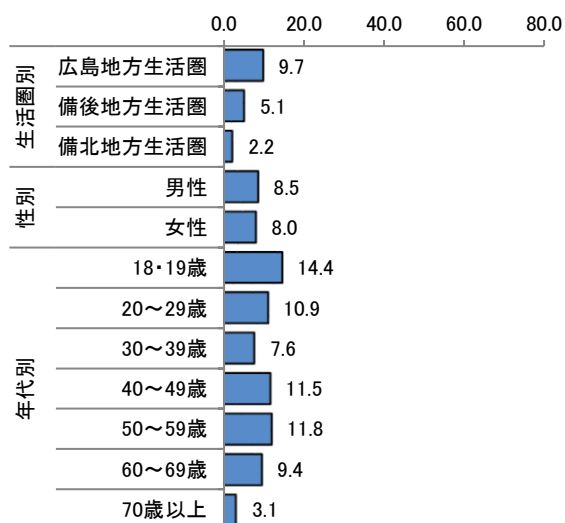


(単位: %)



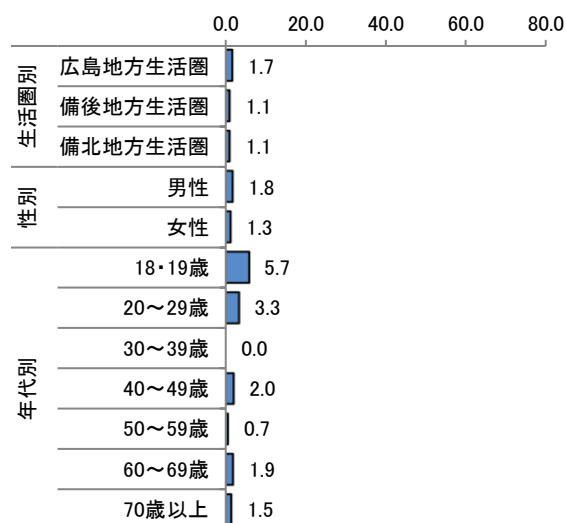
(単位: %)

外国人



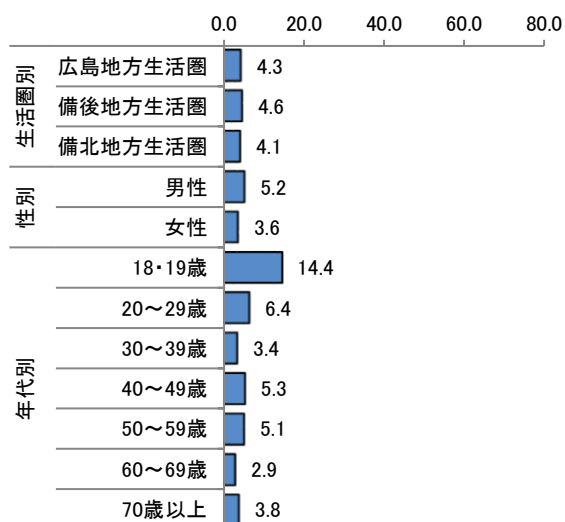
(単位: %)

HIV感染者, ハンセン病回復者等



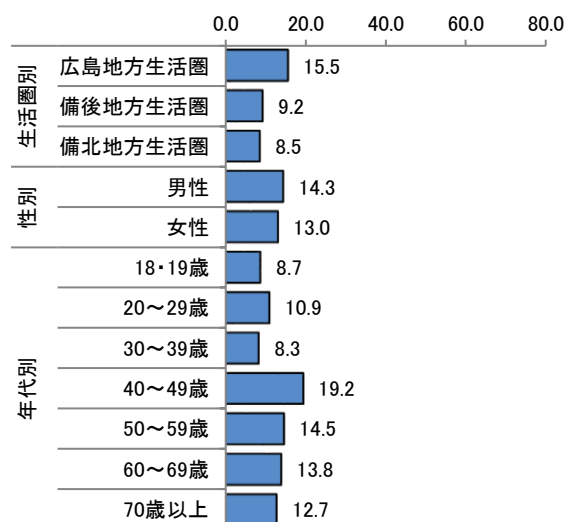
(単位: %)

刑を終えて出所した人



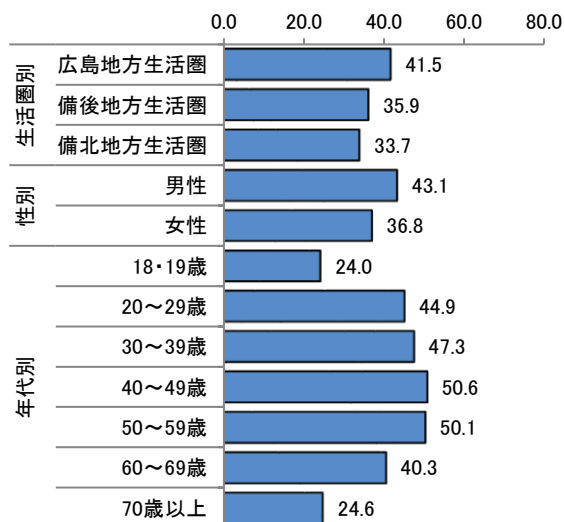
(単位: %)

犯罪被害者等



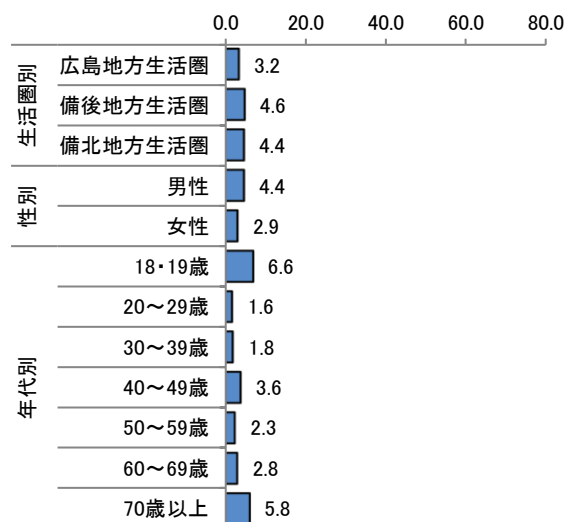
(単位: %)

インターネットによる人権侵害



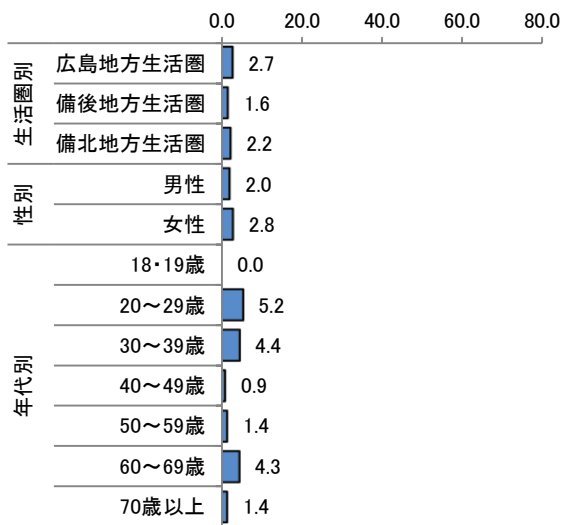
(単位: %)

ホームレス



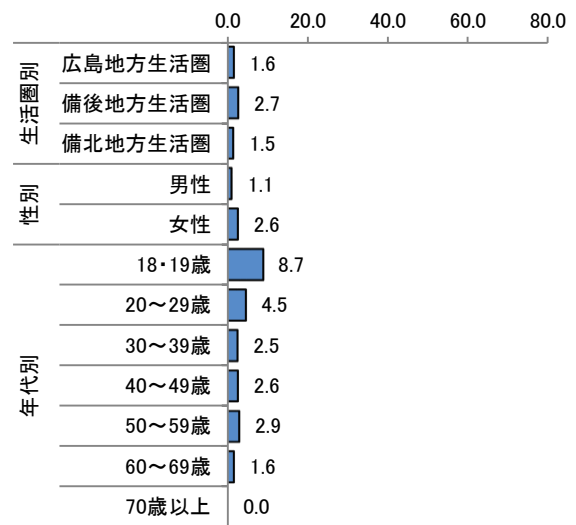
(単位: %)

人身取引



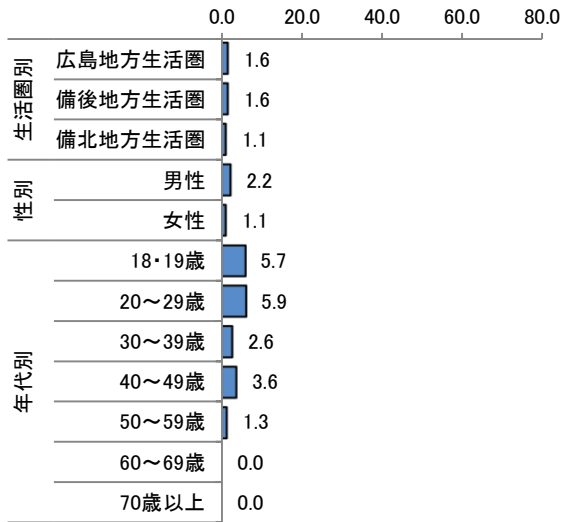
(単位: %)

性自認



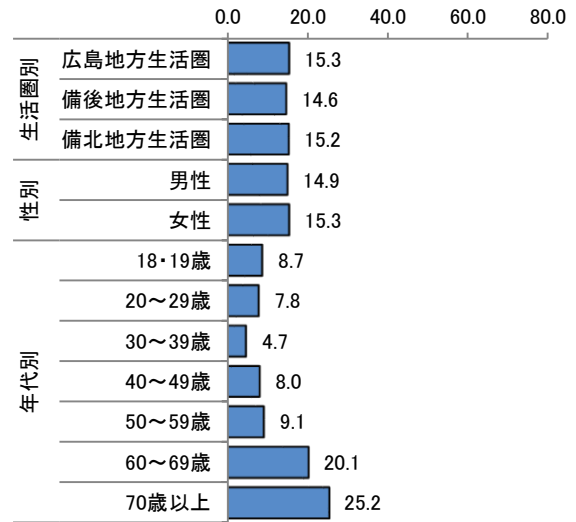
(単位: %)

性的指向



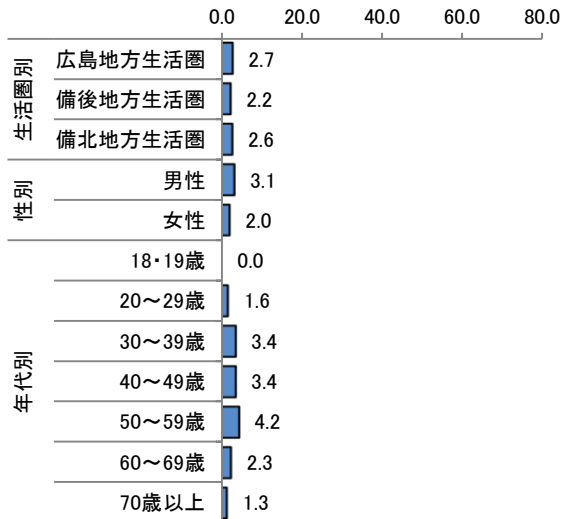
(単位: %)

北朝鮮当局によって拉致された被害者等



(単位: %)

その他



(単位: %)